



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社博展

コード番号 2173 URL <http://www.hakuten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田口 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 玉井 昭

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,885	—	91	—	86	—	53	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 52百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	14.38	14.17
27年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は平成27年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	4,017	1,242	29.8	322.60
27年3月期	3,548	1,189	33.5	322.38

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,198百万円 27年3月期 1,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	19.8	115	40.7	105	36.4	52	3.6	14.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当第3四半期連結累計期間において新株予約権の行使がされております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該新株予約権行使後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) タケロボ株式会社、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	3,713,800 株	27年3月期	3,684,400 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	3,702,147 株	27年3月期3Q	3,533,829 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) (要約) 四半期個別貸借対照表	9
(2) (要約) 四半期個別損益計算書	10
(3) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善により緩やかな景気回復基調をみせたものの、中国や多くの新興国での景気減速が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要領域である広告・イベント業界におきましては、日本経済の緩やかな回復基調に伴い、概ね堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループは、中期ビジョンである「Be a PARTNER of EXPERIENCE MARKETING」(経験価値提供型マーケティング・パートナーになる)の実現に向け、Experienceマーケティングサービス(人と人が出会う“場”・“空間”とそこで生み出される体験に焦点を当て、感動価値・経験価値を最大化し、クライアントのブランド価値や商品価値向上とともに実現していくこと)の提供を通じて、クライアントのマーケティング・パートナーへと進化すべく、新たな市場・サービス領域への挑戦とともに力強く事業を推進してまいりました。

特に、平成27年11月には、ロボットの開発・製品化を行うタケロボ株式会社を子会社化いたしました。各種イベントや商環境における集客やプロモーションの効果を高めるデジタルコンテンツツールとしてのロボット技術の利用とともに、タケロボ株式会社の研究開発力と当社の営業力、マーケティング企画・制作力を融合し、新たな「IoT時代」を見据えた新たなビジネスモデルの構築を進めてまいります。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、58億85百万円となりました。営業利益は91百万円、経常利益は86百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は53百万円となりました。

(注)当社は、前連結会計年度の第4四半期より連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期との比較は行っておりません。

なお、当社の当第3四半期累計期間における売上高は、55億円(前年同四半期比24.3%増)となりました。営業利益は1億90百万円(前年同四半期比273.0%増)、経常利益は1億85百万円(前年同四半期比291.9%増)、四半期純利益は1億22百万円(前年同四半期比479.0%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりです。

a. コミュニケーションデザイン事業

コミュニケーションデザイン事業におきましては、人と人が直接出会う“場”・“空間”において、様々な体験価値を通じて提供される製品・サービスの宣伝・販売活動を「Experienceマーケティング」と位置付け、“コミュニケーション”に関わるあらゆる「表現」「手段」「環境」を“デザイン”し、サービスを展開しております。

今までにない感動価値・経験価値の提供のため、各サービスともにデジタル技術を活用するなどの新たな挑戦を続けております。次世代の基幹事業へと進化させるべく取り組んでいるカンファレンス&コンベンション、商環境、デジタルコンテンツ&マーケティング、主力事業であるイベントプロモーション、展示会出展、商談会・プライベートショー、各サービスそれぞれの特性を活かした戦略等が順調に進捗しており、当第3四半期連結累計期間における売上高は55億円、セグメント利益は1億81百万円となりました。

b. Webインテグレーション事業

Webインテグレーション事業におきましては、インターネットを活用したビジネスモデルの策定から戦略的なWebサイト構築、企画制作、デザイン、コンテンツ提供、更新運用・保守、CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)導入支援、SNS構築・運用、モバイルサイト構築等に加え、さまざまなテクノロジーを集約して、イベントプロモーション等で活用するアプリケーションなど新たなサービスを提供するエンジニアリングソリューションに取り組んでいます。

大手SIerとのネイティブアプリ・WebアプリのUI開発など、システム開発力とデザイン・クリエイティブの強みを発揮した新たな実績を重ねるとともに、進行・納品体制の最適化を実現すべく事業基盤強化を進めてまいりました。

しかしながら、多くのリソースを要する開発案件の発生による影響や、大型プロジェクトの進行・納品体制の拡充のために投じた人材補強費等の発生により、当第3四半期連結累計期間における売上高は4億5百万円、セグメント損失は46百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、資産合計40億17百万円(前連結会計年度末比13.2%増)、負債合計27億74百万円(前連結会計年度末比17.6%増)、純資産合計12億42百万円(前連結会計年度末比4.5%増)となりました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は31億92百万円(前連結会計年度末比3億81百万円増加)となりました。これは、新規借入を行ったこと等により現金及び預金が前連結会計年度末比3億12百万円増加したことが主な要因となっております。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は8億25百万円(前連結会計年度末比87百万円増加)となりました。これは、コミュニケーションデザイン事業における基幹業務システム改修のための投資等により無形固定資産が前連結会計年度末比1億16百万円増加したことが主な要因となっております。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は16億4百万円(前連結会計年度末比1億58百万円増加)となりました。これは、コミュニケーションデザイン事業において新たに短期借入を行ったことにより短期借入金が増加したこと、及び新規借入が約定返済を上回ったことにより1年内返済予定の長期借入金が増加したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は11億70百万円(前連結会計年度末比2億56百万円増加)となりました。これは、コミュニケーションデザイン事業における新規借入が約定返済を上回ったことにより長期借入金が増加したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は12億42百万円(前連結会計年度末比53百万円増加)となりました。これは、非支配株主持分が新たに44百万円生じたことが主な要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績経過は、概ね計画通りに推移しているため、通期の業績予想につきましては、平成27年5月14日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、タケロボ株式会社の株式を64.8%取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。なお、同社は特定子会社に該当しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9,200千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195,603	1,508,335
受取手形及び売掛金	1,408,048	1,352,172
仕掛品	71,898	201,466
原材料及び貯蔵品	2,129	4,107
その他	135,444	127,877
貸倒引当金	△2,539	△1,842
流動資産合計	2,810,585	3,192,116
固定資産		
有形固定資産	210,690	192,842
無形固定資産		
のれん	79,957	125,046
その他	275,343	346,412
無形固定資産合計	355,301	471,458
投資その他の資産		
その他	173,132	162,233
貸倒引当金	△1,395	△1,350
投資その他の資産合計	171,737	160,883
固定資産合計	737,729	825,184
資産合計	3,548,315	4,017,301
負債の部		
流動負債		
買掛金	534,821	403,232
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	489,644	701,460
未払法人税等	14,386	72,551
賞与引当金	81,930	64,884
その他	324,969	262,217
流動負債合計	1,445,751	1,604,344
固定負債		
長期借入金	810,851	1,039,599
その他	102,547	130,667
固定負債合計	913,398	1,170,267
負債合計	2,359,150	2,774,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	170,391	173,403
資本剰余金	224,553	227,560
利益剰余金	789,783	792,282
株主資本合計	1,184,729	1,193,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,054	4,839
その他の包括利益累計額合計	3,054	4,839
新株予約権	1,381	—
非支配株主持分	—	44,603
純資産合計	1,189,164	1,242,689
負債純資産合計	3,548,315	4,017,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	5,885,057
売上原価	4,436,360
売上総利益	1,448,696
販売費及び一般管理費	1,356,926
営業利益	91,769
営業外収益	
受取利息	29
受取配当金	101
雑収入	2,403
営業外収益合計	2,534
営業外費用	
支払利息	7,295
雑損失	481
営業外費用合計	7,776
経常利益	86,527
税金等調整前四半期純利益	86,527
法人税、住民税及び事業税	68,472
法人税等調整額	△32,631
法人税等合計	35,840
四半期純利益	50,686
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,555
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,242

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	50,686
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,785
その他の包括利益合計	1,785
四半期包括利益	52,472
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	55,027
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,555

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	コミュニケーション デザイン	Webインテグ レーション	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,500,888	384,071	5,884,960	97	5,885,057	—	5,885,057
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	21,491	21,491	—	21,491	△21,491	—
計	5,500,888	405,563	5,906,452	97	5,906,549	△21,491	5,885,057
セグメント利益 又は損失(△)	181,633	△46,542	135,090	△6,248	128,842	△37,072	91,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コミュニケーションデバイス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△37,072千円は、のれんの償却額△16,377千円、セグメント間取引△20,695千円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「コミュニケーションデザイン事業」で9,200千円減少しております。

4. 補足情報

(1) (要約)四半期個別貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,536	1,263,008
受取手形	61,551	170,457
売掛金	1,193,072	1,121,933
仕掛品	63,627	138,642
原材料及び貯蔵品	1,811	3,925
その他	112,050	94,706
貸倒引当金	△1,323	△1,369
流動資産合計	2,485,326	2,791,304
固定資産		
有形固定資産	196,857	184,522
無形固定資産	125,689	176,491
投資その他の資産		
その他	470,026	681,884
貸倒引当金	△1,395	△1,350
投資その他の資産合計	468,631	680,534
固定資産合計	791,178	1,041,548
資産合計	3,276,504	3,832,853
負債の部		
流動負債		
買掛金	478,011	368,886
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	463,580	673,754
未払法人税等	1,328	72,254
賞与引当金	60,000	53,607
その他	278,555	234,169
流動負債合計	1,281,475	1,502,671
固定負債		
長期借入金	760,922	1,002,444
その他	54,403	70,862
固定負債合計	815,325	1,073,306
負債合計	2,096,801	2,575,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	170,391	173,403
資本剰余金	224,553	227,560
利益剰余金	780,322	851,071
株主資本合計	1,175,268	1,252,035
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,054	4,839
評価・換算差額等合計	3,054	4,839
新株予約権	1,381	—
純資産合計	1,179,703	1,256,874
負債純資産合計	3,276,504	3,832,853

(2) (要約)四半期個別損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,426,296	5,500,888
売上原価	3,172,142	4,180,171
売上総利益	1,254,153	1,320,717
販売費及び一般管理費	1,202,996	1,129,884
営業利益	51,156	190,833
営業外収益	3,137	2,288
営業外費用	6,890	7,354
経常利益	47,403	185,767
税引前四半期純利益	47,403	185,767
法人税等	26,276	63,436
四半期純利益	21,126	122,330

(注) 科目の区分掲記につきましては、要約して記載しております。

(3) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)
コミュニケーションデザイン事業	5,394,998	1,574,030
Webインテグレーション事業	531,551	249,604
合計	5,926,549	1,823,635

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. その他の事業については、受注残高はありません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	5,500,888
Webインテグレーション事業(千円)	384,071
その他の事業(千円)	97
合計(千円)	5,885,057

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。